



風化させない大地震の記憶。そしてこの先の安心を考える。
地震直後の倒壊と地震直後の生活に備える。
 いつ発生するか分からない『大地震』から大切な家族を守るために、一刻も早い安心・高品質な対策の必要性が高まっています。

制震ダンパー「安震くん」のご紹介：制震対策の必要性が強まる一方で、具体的にどのような対策をすればいいのかお困りの方が多いのも事実です。制震装置「安震くん」は、細かい揺れから繰り返しの揺れまで対応するため、地震から建物を守る有効な手段です。大がかりな工事や高価な装置に頼らず、多くの方に満足して選んでいただける工法です。

榊徳スタッフ紹介 「これが私のベストバイ」 VoL 01

「仕事のお供に。コーヒー道具」編

榊徳スタッフが愛してやまない仕事や暮らしの道具。

「使って良かった!」という逸品を、皆さまにご紹介するコーナーです。今号では、毎日コーヒーを飲まないで落ち着かないというくらい、コーヒー好きな横森の愛用品をご紹介します。

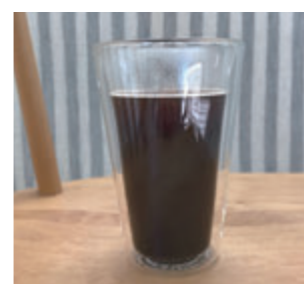
広報・企画チーム
横森 雅子



フレンチプレスコーヒーメーカー KENYA (ケニヤ)

bodum

誰でも手軽に美味しいコーヒーを淹れられるコーヒーメーカーです。コーヒーをドリップして飲むと、紙フィルターのゴミが都度出てしまいますよね。それが気になってしまい、7年前に購入しました。使い方はとても簡単。粗挽きのコーヒー豆とお湯を入れ、軽くかき混ぜて4分蒸らした後、フィルターをゆっくりと下にプレスするだけです。豆本来の旨味を最大限に引き出した一杯が味わえますよ!



ダブルウォールグラス BODUM CANTEEN

bodum

耐熱ガラスの二重構造で、保温性、保冷性に優れたグラスです。コーヒーを淹れてもすぐに冷めてしまうのが切なく、かといって保温できるタンブラーから飲むと、何となくコーヒーが美味しくなく感じたので、購入しました。保温性に満足しているのはもちろん、食洗器、電子レンジ、オープンも使用可能な点が大変気に入っています! 様々なサイズがあるので、お客様用にもピッタリです。

榊徳は創業明治38年、木と共に1世紀

経営理念・より良い住環境をつくり手と共に住まい手へ...

人々の暮らしの中で木は常に人と密接した存在として必要不可欠なものです。目には見えない様々な場所で形を変え、人々の暮らしを支えています。家も木が形を変え、生活に密着しているもののひとつです。寝食を共にする家族の中で共有する最も身近な存在といえるでしょう。私たちは木を通じて、より良い環境を目指して前進する皆様の全力で応援することに日々精進を怠らず皆様と共に歩み続けます。



■会社名の由来
 創業者初代星野徳次郎が浦和にあった榊屋という材木商で修行した後、大宮で店を出すにあたって、修行した店の屋号と本名の一字を合わせて「榊徳」としたものです。



■本 社
 〒330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-697
 TEL:048(658)5600 FAX:048(658)5605 e-mail:masutoku@masutoku.jp

■大宮営業所
 〒330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-697
 TEL:048(658)5600 FAX:048(658)5605

■伊奈配送センター
 〒362-0811 埼玉県北足立郡伊奈町西小針6-127
 TEL:048(729)2000 FAX:048(729)2001

www.masutoku.jp

特集

この先の安心を考える。 地震直後の倒壊と 地震直後からの生活に備える。

風化させない大地震の記憶。

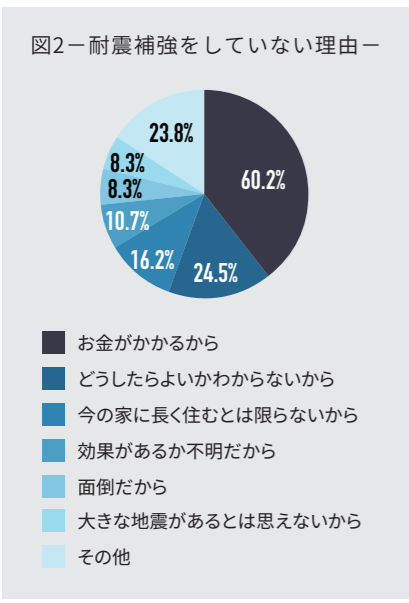
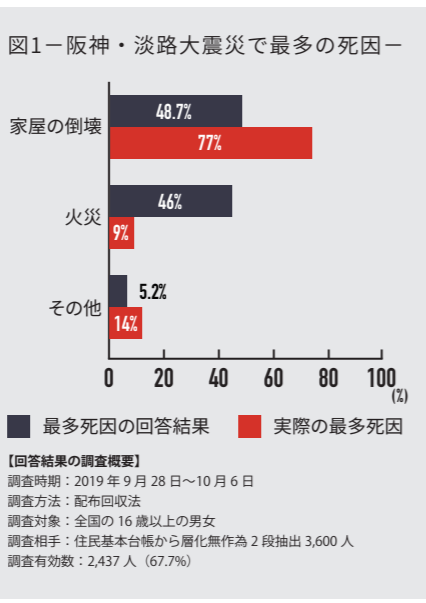
東日本大震災から10年目を迎えようとしていた矢先、2月に福島沖で震度6強の地震が発生しました。関東でも揺れは大きく、時間も長かったため「3・11」が一瞬にして蘇りました。

お付き合いのある工務店さんからは、瓦が落ちたり、ブロック塀が倒壊した等の連絡もなく、ホッと一安心でしたが、東日本大震災は忘れてはいけない出来事です。震災の発生から丸10年、その節目となる今号は「この先の安心を考える」をテーマに特集します。

判断を先延ばししている!?

2019年9月、NHKが「災害に関する意識調査」を行いました。設問の一つに「阪神・淡路大震災では、およそ6千400人が亡くなりました。あなたは、亡くなった原因で最も多かったのは次のうちどれだと思いますか。」という項目がありました。地震といえば火災をイメージする人が多く、回答結果は左記の通りです。しかし実際は、家屋の倒壊が77%、火災が9%となっています。(図1参照)。

この事実を見れば、地震対策における最優先事項は、逃げる間も無く家が倒壊することを防ぎ、夜間寝ている間にも安全を確保することです。にも関わらず、「耐震補強をしていない理由」では、「どうしたらよいかわからないから」「面倒だから」「効果があるか不明だから」と回答した人が多く、地震から目を逸らし、判断を先延ばししているように感じます(図2参照)。



制震ダンパー「安震くん」のご紹介

地震に対してどのような安心をご提案できるか、桝徳が選んだ制震ダンパーは「安震くん」です。

POINT1 耐震等級3+制震ダンパーで地震直後から生活するための備え

熊本地震では震度6以上の大きな地震が7回も発生しました。

耐震等級3で建てられた住宅は全壊しませんでした。12.5%の住宅は半壊の被害を受けました。今後このような大地震が起こらないとは限りません。繰り返しの大きな揺れには制震ダンパーが有効です。地震直後から生活するための備えとして、「安震くん」をお勧めします。



耐力壁の筋交い部に取り付けした「安震くん」

POINT2

耐震改修+制震ダンパーで地震直後の倒壊を防ぎ、その後の生活に備える。

「安震くん」は、耐震改修として剛性を高めた上で設置すると減衰性が付加(建物の変形を最大55%低減)されます。

圧倒的にコンパクトである「安震くん」は、施工や運搬の効率が高く、低コストで容易に設置可能です。東京工業大学など多くの学術研究機関による性能試験をクリアし、これまで、1万3000棟以上の実績があり、多くの住宅を地震から守り続けています。



建物に均一に配置するよう内壁に取り付けた「安震くん」

制震ダンパー性能比較

	Bulls ダンパー 『安震くん』	A社	B社
減衰仕様	◎ 油圧ダンパー あらゆる性質を持つ地震に対応可能	△ 高減衰ゴム(周波数依存性) 変形速度により効果が劣る 1/60以上の変形では減衰効果なし	△ 高減衰ゴム
性能	◎ 建物の変位を30~50%低減 最大55%のシミュレーション結果あり (製造元発表)	○ 1/30の層間変位を約30%低減 (メーカーHPより)	◎ 阪神大震災クラスの地震において、 建物の変形を最大1/2にする (メーカーHPより)
施工性	◎ 専用ビスによる取付 40坪程度の建物で、半人工	○ 専用ビスによる取付 40坪程度の建物で、1人工	△ ホールダウン金物などで、固定必要 40坪程度の場合、2人工
価格	◎ 定価 768,000円 (40坪程度の場合)	△ 定価 910,000円 (40坪程度の場合)	◎ 定価 750,000円 (40坪程度の場合)
取付本数	◎ 40坪程度の建物で24本	◎ 40坪程度の建物で14セット(56本) (メーカーHPより)	△ 40坪程度で2カ所のみ
採用実績	◎ 4,000棟以上	× 不明(メーカー発表なし)	× 不明(メーカー発表なし)
試験・実験 協力機関	◎ 東京工業大学 静岡大学 豊田工業専門学校 国立交通大学(台湾)	○ 東京都市大学 住友ゴム	○ ミサワホーム



山崎 佑一

2月13日夜の大きな地震は、東日本大震災の余震で、今後10年は大規模な余震が発生する状況が続くとみられているそうです。この機会に、改めて住まいの地震対策について工務店様と一緒に考えていただきたいと思います。

手に入れた安心は、人それぞれ。

住まい手さんによって、かけられる費用と求める安心の度合いは違います。

「耐震等級3」にプラスして「制震ダンパー」を取り付けるケース、建て替え不可住宅の改修や低予算を前提として「制震ダンパー」を用いるなど、様々なケースがあると思います。

左記に「安震くん」のQ&Aの一部を記載しておきますので、参考にしてください。

「安震くん」Q&A

保証期間は?	製品保証期間として、安震くんをご採用頂いた建築物の完工日を起算として10年間とさせていただきます。
耐用年数は?	80~90年の耐久性があると考えています。
使用本数は?	2階建て40坪程度のお住まいで、24本程度の取り付けとなります。
壁倍率に換算できないの?	壁倍率は新築時における構造上の評価基準であり、制震装置として販売されているすべての商品は新築の壁倍率に換算することはできません。仮に「壁倍率〇倍」という制震装置があった場合は、剛性が高い耐力壁として評価されており、制震装置としての性能(減衰力)はないと考えられます。

上記以外のQ&Aは桝徳ホームページに掲載しています。左記のQRコードからアクセスください。ご質問がありましたら遠慮なく、お問い合わせを!



編集後記

今回はお勧めの書籍をご紹介します。



出版社：日経BP (2021/1/8)
発売日：2021/1/8

「2040年の未来予想」という書籍をご紹介します。この書籍は、元日本マイクロソフトで社長を務めた「成毛 眞(なるけ まこと)」さんが上梓した書籍です。

実業家である成毛さんが、これまでの10年より、これからの10年の方が世界は大きく、早く変わるだろうとして、30年後の日本を予想しています。

主には、テクノロジーの進歩、年金・税金・医療費について、言及していますが、最後の章で、「天災は必ず起こる」とし「地震のリスクについて」も述べています。是非、手にとってお読みいただきたいと思えます。

この書籍を解説している「中田敦彦さんのYouTube大学」もお勧めです。ラジオを聞くように視聴できますので、左記のQRコードからアクセスしてくださいね。前編と後編に分かれており、地震については後編で触られています。

横森雅子



前編



後編